

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	心笑		公表日	令和7年 3月 11日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	子ども達の成長に合わせ、目を向けているので活動しやすい。	今後も継続していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	一人一人に丁寧な関わりを持ち支援を行うことで成長を促すことが出来る。そのため基準の人数より多くの職員を配置している。	今後も継続していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	92%	8%	情報共有の環境は良い。バリアフリーの点では問題はあるかもしれない。	今後も継続していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	活動に応じ、部屋を分け集中して活動に参加できるように工夫を行っていると思う。	今後も継続していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	パニックになった際、1対1でクールダウン出来る部屋を設けている。	今後も継続していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	毎週月曜日の午前中は、職員全員で情報共有を行い、研修を行っている。	今後も継続していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎年、研修の時間を使って内容を確認し、改善へと繋げている。	今後も継続していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	問題点については、意見を伝える機会が常にある。	今後も継続していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				今後、第三者評価委員会を検討していくよていてある
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	月1回法人内研修を行い、パートさんも全員外部研修を受け、権の向上を図っていると思う。	今後も継続していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	職員全員で検討し作成しているので、適切であると思う。	今後も継続していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	相談支援の利用計画をもとに、保護者様と面談をおこない、その内容について職員間で共有しながら個別支援計画書の作成をおこなっている。	今後も継続していく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	おこなう事ができている。	今後も継続していく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	作成したものが合わない時には計画の修正をおこなっている。	今後も継続していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	確認できている。	今後も継続していく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	設定できていると感じている。	今後も継続していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	話し合いをもとにおこなっている。	今後も継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	リーダーを日々交代しながら療育を行っていることが工夫できる。	今後も継続していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	出来ている。	今後も継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼と昼礼の際に、活動内容やその日の担当の確認をおこなう事が出来ている。	今後も継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	92%	8%	その日のうちにできない時には次の日の朝礼または昼礼でおこなう事ができている。	今後も継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	毎日の記録をとっている。	今後も継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	本人に合った目標設定ができるように保護者様と話す機会を設けているためその時に見直しをおこなっている。	今後も継続していく。

公表

事業所における自己評価結果

公表日 令和7年 3月 11日

事業所名	心笑						
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者又は担当が出席している。	今後も継続していく。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて関係機関との連携を、迅速におこなっている。	今後も継続していく。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	就園前のお子さんに対し、保護者様と就園先・事業所と情報共有の会議をおこない、支援方法の統一化を図っている。	今後も継続していく。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	サービス等利用計画をもとに、情報の共有がおこなえていると感じている。	今後も継続していく。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	40%	60%	児童発達支援センターが開催している研修等に積極的に参加している。	今後も継続していく。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	92%	8%		今後はその機会を増やしていきたいと思う。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	些細なことで連絡帳を通してやりとりしたり、写真や動画を保護者様に共有している事からできていると感じている。	今後も継続していく。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	58%	42%	親子療育を毎月おこなっている。	今後も継続していく。	
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に書面にておこなっている。	今後も継続していく。
		36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	その都度面談をおこない、家族の意向を確認している。会話のできるお子様については、直接確認することを心がけている。	今後も継続していく。
		37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	個別支援計画書に署名捺印をいただく際、おこなっている。	今後も継続していく。
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	連絡帳やLINEを通してその都度、職員間で共有しながらおこなっている。必要があれば面談等もおこなっている。	今後も継続していく。	
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	親子療育や行事等に参加していただいた際に、できるだけ保護者様同士で交流が出来るようにしている。	今後は兄弟同士や保護者様同士で交流できる機会を増やしていけたらと思う。	
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	その都度迅速に対応をおこなっている。	今後も継続していく。	
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月の心笑だよりの作成やホームページへの活動内容の掲載をおこなっている。	今後も継続していく。	
42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	十分に配慮し取り扱っている。個人情報保護についての研修に参加している。	今後も継続していく。	
43		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	心笑で使用している物を保護者様にお渡しし、活用してもらっている。	今後も継続していく。	
44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	91%	9%	高齢者との餅つきや野菜の収穫をおこなっている。	今後も継続していく。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	心 笑		公表日	令和7年 3月 11日		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	毎月研修をおこない、研修委員会で作成したマニュアルをもとに訓練をおこなっている。	今後も継続していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	毎月一回、研修をおこない子どもたちと一緒に避難訓練をおこなっている。	今後も継続していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	年度の初めに保護者様にアセスメントシートをお渡し、見直しをおこない、職員間で共有している。	今後も継続していく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	食物アレルギーの利用者がいる時は対応する。	今後も継続していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	年に一度計画の見直しをおこない、危険箇所などの確認をおこなっている。	今後も継続していく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	マニュアルをもとに周知をおこなっている。	今後も継続していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットが起きた際には、報告書へ記入し再発防止に向け、職員間で共有をおこなっている。	今後も継続していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止研修を年に2回おこなっている。	今後も継続していく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	保護者様に説明をおこない同意を得たうえで、計画書に記載している。	今後も継続していく。